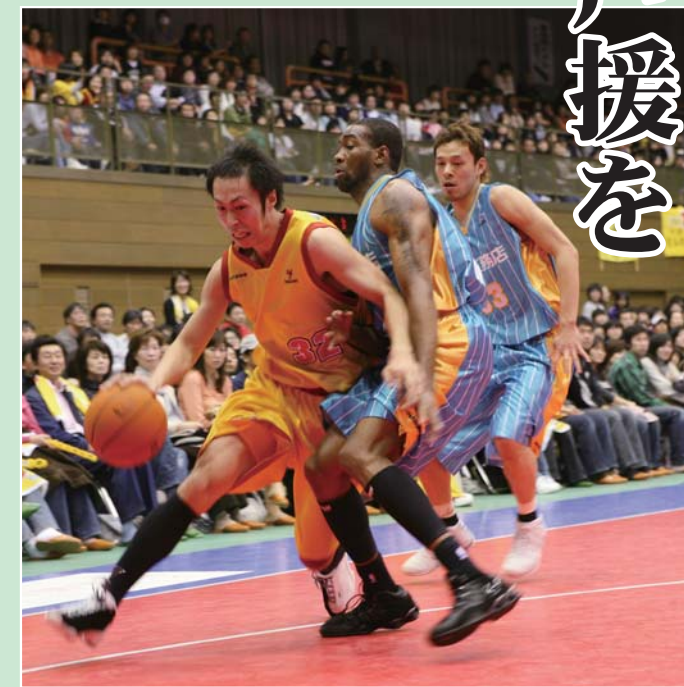


登米市民の熱い声援を 背に選手が奮闘

bjリーグ2006〜2007シーズン公式戦、仙台89ERS第31・32戦（対高松ファイブアローズ）が3月3、4日の両日、登米総合体育館（蔵シヤム）で開催されました。市で初のプロバスケットボール公式戦とあって、会場は両日とも超満員。多くの観客がプロのスピードと技に魅了されました。試合は、第31戦が試合終了残り1秒で3点シュートを決められ82対84の逆転負け。第32戦は日本人選手の活躍で80対74と逆転勝ちを収めました。



フリースローを狙う仙台の点取り屋、マーマドゥ・ディオウフ選手（No.25・フォワード）



宮城県出身の松田大地選手（No.32・ガード）が、果敢なドリブルで高松ディフェンスをかいくぐってチャンスを出した



マイケル・シャベール選手（No.20・フォワード）の放った3点シュートが、きれいな放物線を描きリンクに吸い込まれました



タオルマフラーやキーホルダーなど、89ERSのグッズを買い求める人でにぎわった販売ブース

布施市長も声高らかに熱く応援

ハーフタイムのアトラクションで行われたシュートチャレンジ

開場前から多くのブースター（バスケットボールファン）が並び行列ができました



チームキャラクターのティナも会場で大活躍！



市外からも多くの89ERSブースターが集まり熱い声援を送りました

「行けっ仙台！オフェンス！」ヒートアップする客席



試合開始前には89ERSチアーズによる応援練習や、米山丸山太鼓の太鼓演奏（3/3）、YOSAKOI登米のよさこい踊り（3/4）などで会場を盛り上げました



シュートチャレンジの参加者も89ERSチアーズと一緒に力強く応援



相手攻撃の芽を摘み果敢なディフェンスを見せる高橋憲一選手（No.1・ガード）

まぶしい笑顔振りまきながら華麗なダンスを見せたチアーズ

